kikusui

TECHNICAL DATA

仕上げの種類	合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）
製品名	ビュートップＥＰ

下塗材：　エポキシ変性アクリル樹脂エマルション系下塗材
（水系クリヤータイプ）
「キクスイ プライマー スーパーＥ」

第 1 版　　作成日：　2020 年 05 月 19 日

菊水化学工業株式会社

公 共 建 築 工 事 施 工 仕 様 書

1. 仕上げの種類

合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）

2. 製品名

ビュートップＥＰ

3. 適用範囲

コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等で既存塗膜が合成樹脂エマルションペイントの塗替え及び新規に塗る場合に適用する。

4. 材料

下塗材：	キクスイ プライマー スーパーＥ	NET　15kg/缶入
中塗材：	ビュートップＥＰ	NET　20kg/缶入
上塗材：	ビュートップＥＰ	NET　20kg/缶入

5. 下地

5.1 適用する下地

適用する下地は、コンクリート面・セメントモルタル面・プラスター面・せっこうボード面、その他ボード面等とし、その他の下地に適用する場合は特記による。

5.2 素地ごしらえ

素地ごしらえは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」平成 31 年版 18 章 塗装工事の 18.2.5，18.2.6，18.2.7 に準ずる。

6. 工程

工程	種別		材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間（h）（23°C 50%RH）	塗付け量（kg/㎡）
	A種	B種					
素地ごしらえ	○(注)		国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」平成31年版18章 塗装工事の18.2.5、18.2.6及び18.2.7による。				
下塗り	○	○	キクスイ プライマースーパーＥ 主材： 15 kg 無希釈	エアレススプレー等	1	3以上	0.07
中塗り（1回目）	○	○	ビュートップＥＰ 主材： 20 kg 清水： 0～2L	エアレススプレー ウールローラー等	1	5以上	0.10
研磨紙ずり	○	－	研磨紙 P220～440				
中塗り（2回目）	○	－	ビュートップＥＰ 主材： 20 kg 清水： 0～2L	エアレススプレー ウールローラー等	1	5以上	0.10
上塗り	○	○	ビュートップＥＰ 主材： 20 kg 清水： 0～2L	エアレススプレー ウールローラー等	1	－	0.10

（注） 1. セメントモルタル面及びプラスター面の素地ごしらえは、18章18.2.5の表18.2.4による。
2. コンクリート面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえは、18章18.2.6の表18.2.5及び18.2.6による。
3. せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえは、18章18.2.7の表18.2.7による。

7. 工法

適用する下地は、コンクリート・セメントモルタル・プラスター面・せっこうボード面、その他ボード面等合成樹脂エマルションペイント塗りは上記工程表により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。

7.1 材料の練混ぜ

(1) 下塗材は、希釈せずハンドミキサーで均一にする。

(2) 中塗材及び上塗材は、指定量の清水を加え、ハンドミキサーで均一に薄める。

7.2 下塗り

(1) 下塗りは、下地の吸い込みのばらつきを防ぐため、だれ・塗り残しのないように均一に塗り付ける。

7.3 研磨紙ずり

(1) 下層塗膜が硬化乾燥したのち、研磨紙で素地の長手方向に、下層の膜を研ぎ去らないように注意して研ぐ。天井面等の見上げ部分は省略する。

7.4 中塗り

(1) 色むら、だれ、光沢むら等が生じないように均一に、はけ、ローラー又はスプレーガンにより塗り付ける。

7.5 上塗り

(1) 色むら、だれ、光沢むら等が生じないように均一に、はけ、ローラー又はスプレーガンにより塗り付ける。

8. 材料の取り扱い

(1) 施工者は、材料の受入れ検査を行う。

(2) 材料の保管にあたっては、直射日光を避け低温時において凍結しないように注意する。

(3) 材料は使用に先立ち、材料の分離などについて検査を行い、異常が認められた場合は使用してはならない。

(4) 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はＳＤＳ（安全データシート）を参照のこと。

9. 施工時の養生

(1) 工事中は、周辺のほかの部材及び仕上げ面を汚損しないよう適切な養生を行う。

10. 施工時の気象条件

(1) 施工場所の気温が5℃以下、湿度が85％以上又は結露の発生が考えられる場合は、塗膜の乾燥過程で種々の欠陥を生ずることがあるので、施工を避ける。

11. その他の注意事項

(1) 一般事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」平成31年版 18章 塗装工事の18.1.4施工一般に準ずる。

(2) 施工器具等の洗浄水が、河川に流出したり、土壌にしみ込まないように注意する。

※本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照するようにしてください。

成 分 表

下塗材：　キクスイ プライマースーパーＥ

内容	重量（%）
エポキシ変性アクリル樹脂エマルション	100.0
計	100.0

中塗材、
上塗材：　ビュートップＥＰ

内容	重量（%）
アクリル樹脂エマルション	22.1
白色及び体質顔料	43.3
添加剤	9.4
水	25.2
着色顔料	適宜
計	100.0

性 能 試 験 成 績 書

仕上げの種類		合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）	
製品名		ビュートップＥＰ	
供試材料		下塗材：キクスイ プライマー スーパーＥ 上塗材：ビュートップＥＰ	
試験方法		JIS K 5663-2018 「合成樹脂エマルションペイント 1 種」に準拠	
試験項目		規定	結果
容器の中での状態		かき混ぜたとき，堅い塊がなくて一様になるものとする。	適合
塗装作業性		2 回塗りで，塗装作業に支障があってはならない。	適合
低温安定性（-5℃）		変質してはならない。	適合
乾燥時間	標準状態	2 時間以内	1
	5℃	4 時間以内	3
塗膜の外観		塗膜の外観が正常であるものとする。	適合
隠ぺい率　％ [白及び淡彩(1)]		93 以上	97
耐水性		96 時間浸したとき異常がないものとする。	適合
耐アルカリ性		48 時間浸したとき異常がないものとする。	適合
耐洗浄性		500 回の洗浄に耐えるものとする。	適合
促進耐候性		異常がない。	適合
屋外暴露耐候性		12 か月の試験で，膨れ，はがれ及び割れがなく，色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	適合

注（1）　淡彩とは，白エナメルを主成分として作った塗料の塗膜に現れる灰色・桃色・クリーム色・うすい緑色・水色などのようなうすい色で JIS Z 8721 による明度 V が 6 以上 9 未満のものをいう。

―以下余白―

＊上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではございません。あらかじめご了承下さい。

性 能 試 験 成 績 書

種類	合成樹脂エマルションシーラー	
製品名	キクスイ プライマー スーパーE	
試験方法	JIS K5663-2018「合成樹脂エマルションシーラー」に準拠	
試験項目	規定	結果
容器の中の状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	適合
塗装作業性	はけ塗りに支障があってはならない。	適合
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	適合
表面乾燥（表面乾燥）	2 時間以内	適合
低温安定性	-5℃に冷やしたとき変質してはならない。	適合
低温造膜性	5℃で塗膜形成に異常があってはならない。	適合
上塗適合性	上塗りに支障があってはならない。	適合
耐水性	水に 96 時間浸したとき異常があってはならない。	適合
耐アルカリ性	水酸化カルシウムの飽和溶液に 48 時間浸したとき異常があってはならない。	適合

―以下余白―

＊上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではございません。あらかじめご了承下さい。